

11 / 7 校長講話

今月は、ふれあい月間です。
ふれあい月間では、生活アンケートをしたりいじめ防止標語を作ったりします。

今日は、本を紹介します。
「ねずみくんのきもち」です。
読んだことがある人もいるかもしれません。

小さくて臆病で失敗ばかりのねずみくん。
今日もねこくんに意地悪されてめそめそしているねずみくんが
「僕は 小さくて 気が弱くて その上 なにをしても 失敗ばかり だから僕は いじめられる
んだ」と…
そこに、ふくろうさんが来てねずみくんに伝えます。
誰もがもっていなければならない一番大切なことを…

さて、ふくろうさんは、ねずみくんに何を伝えたでしょう。

ふくろうさんは、ねずみくんへ
「自分のことでなく 相手のことを思うことが大切なんだよ。それを思いやりっていうんだよ。」
と伝えます。そして、
「相手のことを思ってあげることができれば、意地悪したり、人を困らせたりすることができなくなるんだけどね」と…

また、小さな体を気にしているねずみくんにたいして
「みんな違うから いいんだよ みんながねずみくんと同じ大きさだったらどうなる
お互い違うものを持っているからいいんだよ 違うことはすばらしいことなんだ」と…

教えてもらったねずみくんは、
みんなが助け合って生きていること。
体は小さくても心は大きくなれること。
一人一人が素晴らしいこと。…に気付いていきます。

そして、「僕は僕で良かった！」と喜ぶねずみくんは、
もう今までのねずみくんではなくなりました。
というお話です。

みんなに考えてほしいことは、
一人一人が違っていてもみんなが良さを持っていること、
相手を思いやる気持ちが何より大切だということ、
そして、思いやりの気持ちが相手の気持ちを変えることができるということ。です。

ふれあい月間、こんなことを考えることができるとうれしいです。